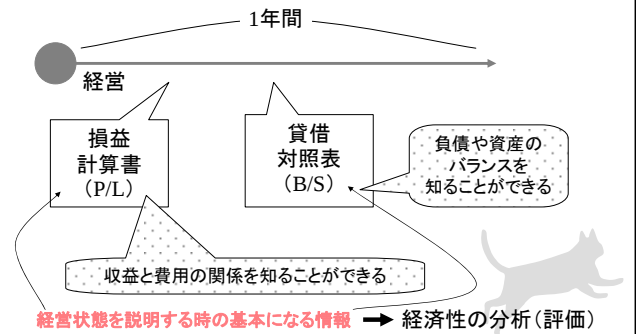


経済性計算

A3p21147 元藤ひとみ

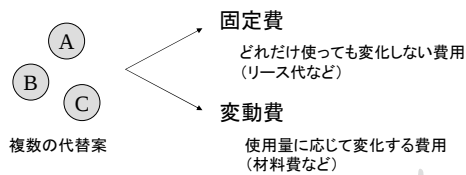


経済性の分析



経済性の分析

経済性分析とは？ ...



どの案が経済的か、
費用を二つの種類に分けて考える。



経済性の分析

ケースA

コンビニで1枚10円の
コピー機を利用する

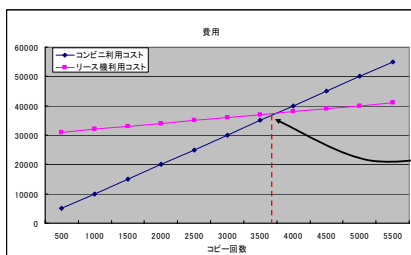
ケースB

コピー機のリース
月額3万円+一枚2円

何枚印刷したかによって費用が変わるので、
どれくらい刷ればどれくらいかかるのかを調べる。

代客数/コピー回数	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500
コンビニ利用コスト	5000	10000	15000	20000	25000	30000	35000	40000	45000	50000	55000
リース機利用コスト	31000	32000	33000	34000	35000	36000	37000	38000	39000	40000	41000

経済性の分析



枚数が優劣分岐点を
越えていれば、
リース機を利用
した方が安く済む。

優劣分岐点



経済性の分析

ソルバーを使った分岐点の算出...

コンビニコピー代(回/円)	10
リース機コピー代(回/円)	2
リース料(月/円)	30000
コピー回数	10
コンビニ利用コスト	100
リース機利用コスト	30020
優劣の差	-29920

ソルバー

設定入力セル(変数) B10:B15

目標値(セル) B12

変化するセル(変数) B10:B12

OK キャンセル

B	コンビニコピー代(回/円)	10
C	リース機コピー代(回/円)	2
D	リース料(月/円)	30000
E	コピー回数	37500
F	コンビニ利用コスト	37500
G	リース機利用コスト	37500
H	優劣の差	0

ソルバー

セル B15 の結果値を探索しています。

解が見つかりました。

目標値: 0

現在値: 0

OK キャンセル



経済性の分析

損益分岐点の計算のしかた・・・

売上げ原価=(売上高)*(変動比率)

限界利益=(売上高)-(変動費)

総費用=(変動費)+(固定費)

変動費=(売上原価)

固定費=(販売費)+(一般管理費)

経常利益=(限界利益)-(固定費)

変動比率=65%

販売費+一般管理費

=1億*0.65



経済性の分析

売上高	0	100	200	300	400	500	600	700
売上原価 (変動費)	0	65	130	195	260	325	390	455
販売費	0	35	70	105	140	175	210	245
一般管理費	157.5	157.5	157.5	157.5	157.5	157.5	157.5	157.5
総費用	157.5	222.5	287.5	352.5	417.5	482.5	547.5	612.5
経常利益	-157.5	-122.5	-87.5	-52.5	-17.5	17.5	52.5	87.5

変動比率 0.65

売上高	450	1億*0.65	77.5
売上原価 (変動費)	292.5	売上高の65%を原価として算出します。	OK
限界利益	157.5	販売費を除く20%を原価として算出します。	キャンセル
販売費	0	目標値 0	
一般管理費	157.5	目標値 0	
総費用	0		
経常利益	0		

